

【随筆】

今年のタンチョウバンディング調査 (その1)

住 吉 尚
(釧路支部)

北獣会誌8月号は学会特集号ですから、この文章は9月号の掲載になりますね。時期がずれてしまっていますが、タンチョウのバンディング調査は私にとって1年で最も重要なイベントですのでご勘弁を願います。でもこの調査に私が参加できるのはいつまででしょうね。とは言え、やれるだけはやり通そうと思っています。

6月14日に北獣代議員会が無事終了、15日13時20分釧路駅に到着。チョウチヨを採りに千葉から来た友人が13時00分に釧路空港に到着しているのでそのまま空港へ。この日は空港から近い庶路方面に行ってみましたが、気温17℃、曇りでチョウチヨの姿は全く見えず、チョウチヨを採りに来た友人はがっかり。翌日は雨。雨が上がってそうな十勝へ。でも気温が低くチョウチヨの姿はなし。空を見上げて明るい方へと走って、津別で昼食を食べ、近くの山道で少しチョウチヨを採り、この日は終了。翌17日は厚床方面にチョウチヨ採りに走って、少しばかりのチョウチヨをつかんで、午後は豪雨の別海町から厚岸へ。18日は音別から少しずつ東へ移動して、16時に空港で友人を下ろして、やっと解放された感じ。



こんなチョウチヨを採りに来たのですが今年は見つかりません

翌日は丸1日お休みをして、月曜日はカレイ釣りに浜中町まで。水曜日は1日中獣医師会の事務所勤務。そし

て土曜日からいよいよタンチョウのバンディング調査が始まります。胴付き長靴を点検したり、背負って行くザックを出したり、雨対策は？とか、暑さ対策は？とか、予備の持物も考えなければなりません。初日の26日は十勝北部で、今までタンチョウの捕獲経験がない場所とか。ここからは1週間ごとに文章を足していこうと思っています。

さて6月26日土曜日、今年最初のタンチョウのバンディング調査です。今まで気温が低くてチョウチヨも飛ばないほどだったのに、土・日曜日は30℃越えの暑さだとか！朝7時釧路出発で十勝に。本別道の駅が集合場所です。予報通りに霧も晴れ、暑い暑い十勝晴れです。今日は参加者が多いので陸別に1名を張り付け、本体は足寄町北西部へ。暑い中探し回りましたが、タンチョウの姿は見えず、やっとヒナ連れの家族を見つけましたが、ヒナが小さすぎてダメ。この日は1羽のヒナも捕獲できずに帰りました。家に帰り着いたのは20時近くでした。2日目は27日日曜日です。今度は豊頃町集合です。私はいつものように家まで迎えに来てもらい、車に乗せてもらって集合場所に。最初のターゲットは昨年3回もトライしながらつかめなかった家族です。さて農家に立ち入りの許可をもらいに行きましたが、だれも見あたりません。家は空ですから電話にも出ません。30分以上たっても連絡ができません。このままだとツルに逃げられてしまいます。それで、昨年もお話をしてあるので事後承諾をいただくことにして、捕獲作業開始です。これは割合簡単に草むらに隠れているヒナを見つけることができました。広い牧草地は日陰がなく暑いので、日陰がある林まで移動して足輪付けの作業です。皆無事捕獲できたので笑顔ですが、私だけは若干渋い顔をして作業を見ている。なぜ？ヒナが小さいのです。一連の作業の最後に私が採血をします。やはり血管が細く、採血は難航。少しばかりの血を採って終了としました。その後あちこち探しながら大津の港まで来て昼食を食べましたが、ここは風が強く気温も24℃と寒いぐらいでした。午後は湧洞、生花などを回りましたが、タンチョウは見つからず。どうしたものかと思案していたところに湧洞の農家から電話です。この農家から10kmほど離れた所に、ヒナ2羽連れのタンチョウの家族がいる。見張っているから直ぐ来い！とのこと。早速出発です。到着するとタンチョウは農家の堆肥山に。そこの農家の了承もすでに得ていたので早速作業開始です。堆肥山の山側を押さえる班が行きます。私はこの班の一番畑寄りに行きます。ここの農家のおじさんはデントコーン畑の中でつかめと言います



今年も最初のヒナは小さい (矢印)



保定帯にくるまれたヒナ (矢印) と保定帯を開いたヒナ (矢頭)

が、デントコーンはあまり踏みたくないの、何とか畑と堆肥山の間にある藪に追い込んで藪の中でつかみたい、という作戦です。ある程度山班が展開したところで、車2台が堆肥山に突撃します。これで予定していた通りに藪にヒナが入ったので、藪の捜索を行い2羽とも捕獲できました。やれやれです。このうち1羽は私が見つke、捕獲しました。大変暑い中でしたので日陰を作って作業を行いました。捕獲され保定帯でくまされたヒナは大変そうでした。このヒナ達は放鳥すると直ぐ親が飛んで来て、親子で林の陰へと消えて行きました。これで十勝2日目にして何とか3羽に足輪が付きました。

次は30日木曜日、今度は浜中町姉別です。タンチョウの家族が農家に現れるまでのんびり待つことに。この間に周辺をあちこち探しましたが、タンチョウの姿は見えません。そうこうしていると「ターゲットの家族が農家に現れた！」との報告が。早速出発です。農家の裏は緩い斜面で数百m下に小川があり、この小川沿いに林と草藪があります。農家と小川の間は刈り取りが終わった

広い採草地です。この小川にタンチョウが逃げ込もうとするので先に小川に人を入れ、こちらに人がいますよ！とありあり気配を出しておきます。農家の両側に足が速い人を配置、私は農家から皆が囲っている刈った後の採草地に向かって追い出すという作戦です。無線では「家族がどンドン川に向かって農家から離れていく！」と。小川部隊に「早く川から採草地に出て！」と叫んでいます。両側の突撃部隊も走り出したようです。私は農家のすぐ裏の草藪をこれから突き抜けようとしていると、直ぐ近くでヒナの翼と人の頭が見え、同時に「捕獲！」と声。私が藪を分けるとヒナを押さえていた人が安心した顔で「頼みます！」と。なんとこの人、旦那さんともにもずいぶん前から参加してくれていたメンバーで、「私が走れないから！」と私のナップザックを背負ってくれていたメンバーで、自分では初めての捕獲でした。私がヒナを保定帯にくるんで、足輪付けの作業が始まります。100mほど向こうではもう1羽のヒナを数人で囲い捕獲を。この家族は我々の作戦通りに捕獲することができました。これで午前中に2羽捕獲です。でも午後のターゲットはいません。仕方なく風連川沿いに捜索しながら釧路方面へと移動していきます。もう茶内の街が近くなったとき、電話が鳴り、ヒナを見つけた、直ぐ来い！と。我々が行くとすでに何人かは展開中でした。私が車を降り、道路上に展開しようとしていると親鳥が1羽道路上に出てきました。私は大声で、「走って！道路を渡らせないで！」と叫びます。でも自分は走ってはいません。この辺からか？と思われるところから道路と刈った後の採草地に挟まれた細長い草藪を3人ほどで捜索しながら、親鳥が出た辺りへと向かいます。すると親鳥が出た当たりの藪の中から刈った後の採草地にヒナが走り出て、待ち受けていたメンバーが「捕獲！」と叫び、作戦終了です。



初めての捕獲で緊張しています (矢印)

これで本日3羽目。帰り際の1羽で満足感いっぱいです。良い日になりました。

次は7月2日土曜日でした。池田駅集合です。本命は陸別でしたが、池田駅からそう遠くない場所にヒナを連れた家族がいる、との情報を得ていたため池田集合としたのです。池田駅に着くと間もなく「タンチョウの家族が農家に出てきている！」と陸別から電話が。急いで出発です。でも十勝は広いですね。池田から陸別まで1時間半もかかりました。到着したときにはもうタンチョウの家族は深い藪に消えた後でした。せっかく来たので、と言うことで、藪を捜索することにしましたが手ごたえがありません。私は欲を出してさらに深い藪へと入っていき、やっとの思いで川を渡り川岸の崖に登ろうとして川に転落。ほうほうの体で皆が待つ集合場所にたどり着きましたが、この事故でデジカメが壊れ、サングラスが川に流されと散々でした。午後は喜登牛に移動。やっとならぬ家族を見つけ、ヒナ1羽を捕獲しました。でもこの農家のおばさんによれば、ヒナは2羽いるはず、とのこと。でも深い草藪の中での捕獲作業でしたので1羽でも上々でしょう。

3日日曜日は標茶です。集合場所の駅前に集まると「南標茶で今ヒナ連れを見てきた！」とメンバーのひとりから。早速出発です。広い採草地に家族がいました。国道と並行する川に向かって何本もの排水路があります。この排水路の両側の草藪に追い込むことに、川沿いのトラクター道に川班の車が見えたので、私たち道路班は採草地に出て走ります。予定通りに藪に入ったヒナを川側からと道路側から捜索しながら絞っていきます。水路の中に2羽のヒナが見えました。1羽は私の反対側へ上がっていき、そちらのメンバーが「捕獲！」との声。さてもう1羽です。水路をさらに道路側へと逃げますが、待ち構えていたメンバーによって無事捕獲です。この人は先日姉別で初めてヒナを捕獲したメンバーの旦那さんで、このヒナがこの人にとって3羽目の捕獲だったとか。昼食後、今度は釧路川を上流に遡りながらの捜索です。我々の車が築堤上に出ると間もなく対岸の築堤上を行く車から「そちら岸にヒナ2羽連れの家族がいる！」との無線が。川岸は自分の側は見えないのです。この2羽連れは川岸の藪を囲ってやっとならぬ1羽だけ捕獲に成功しこの日は終わりとなりました。

6日水曜日は市役所で、マイクロチップと畜犬登録についての説明を受けたが何とも分かりにくい話でした。翌7日木曜日、今度は中標津集合です。最初は標津川沿いの農家がターゲットでしたが現れず、次は茶志骨が狙

いでしたがこちらも見つけられず、中春別近くでやっとならぬヒナ連れを見つけて困おうとしましたが逃げられてしまい、この日は1羽も捕獲できずに終了となりました。でもこの日は中標津周辺に40羽ほどの非繁殖個体がいることが判り、「こんなにツルを見たのに捕獲できなかったのは初めてだなー！」と言いました。

次は9日土曜日でした。またまた十勝、霧雨の中の捕獲作業です。先日ヒナを見た、と言う十勝川築堤に行きましたが、タンチョウの姿は見られず。それではと、前回も行った湧洞へ。農家の少し先の堆肥山にタンチョウの家族が見えます。タンチョウがいる堆肥山に車で走り込み、追いかけてヒナをつかむ、と言う速攻作戦です。車が突っ込みます。戸を開けバラバラッと駆け出します。私も一緒に駆け出しました。でも思いのほか堆肥山周りの草藪は深く、衛星写真を見た感じよりずいぶん広いと感じました。これは失敗したかな？と思いつつ始めた時、深い藪の中から「捕獲！」との声。幸運にも（ヒナにとっては不運にもかもしれませんが）、たまたまヒナが隠れていたところを見つかることができたと言うことでしょう。ラッキーな捕獲となりました。さて、次を求めて、生花や小紋別などを走りましたが、良い場所にヒナ連れが見つからず引き返し始めていると、大きな農場のバンカーサイロの後ろの取り付け道路の脇で、採食中のヒナ1羽を連れた家族を見つけました。片側はコンクリートの壁です。道路幅は狭く、コンクリート壁の反対側は深い森で沢になっているように見えました。でもここは速攻勝負と行きました。車をできるだけ森側を走らせ、ヒナがコンクリート壁側に逃げた所を捕まえようという作戦です。私と隊長がコンクリート壁の両側でつかみそこなって逃げてきた時の用意を。さて勝負「行け！」と無線が。そして車が私の前を通り過ぎると間もなく、「捕獲！」との声。本日やっとならぬ2羽目です。こうして本年十勝での最後の捕獲作業を終えました。